



将来を見据えて サーバー管理の簡素化に成功した IHG ホテルズ & リゾーツ

IHG
HOTELS & RESORTS

数千ものビジネスで使用するサーバーだけでなく、ソフトウェアとハードウェアのアップデートも管理することを想像してみてください。この難題に対処することが、IHG ホテルズ & リゾーツでグローバル展開担当テクニカル アドバイザーを務める私の任務です。IHG は、ホリデイ・インやインターコンチネンタルホテルズグループなどの有名ブランドを含む、17 のホテルグループを、6,000 か所で運営し、グループや拠点ごとに独自の IT 環境を運用しています。私は、これらすべてのホテルでハードウェアおよびソフトウェアの展開と管理、アプリケーション層、インフラストラクチャの認証を統括しています。

IHG 内のすべてのホテルがエンドポイントであり、どのコンピューターやスイッチを購入するかを支配人にアドバイスするのも私の任務となっています。IHG はブランド標準を定めており、特定の PC、ワークステーション、サーバー、ルーター、スイッチを指定して、すべての施設の IT 環境を標準化しつつ、各拠点固有のニーズにも対応しています。私たちが目指しているのは、このインフラストラクチャで実行される重要システムの管理を簡素化しつつ、お客様に最高のゲストエクスペリエンスを提供することです。競争の激しいホテル業界では、お客様の満足度が低ければ、すぐに他のホテルに奪われてしまいます。

すべての正常運用を維持するため、私は毎日スクリプトを実行し

てほぼすべてのホテルでの更新を指示しようとしていますが、それらの更新によるトラフィックで帯域幅が輻輳してネットワークチームから苦情が来ることになるので、バックボーンの機能を維持しつつ、調整しながらファームウェアとソフトウェアを更新する必要があります。ネットワークの遅延は、食料やリネンを発注するロジスティクス部門から、すべてのホテルのフロント業務まで、運営のあらゆる面に影響を及ぼす重大な問題です。6,000 の拠点を管理するには、IT インフラストラクチャの管理方法を最適化することが極めて重要になります。

苦悩で頭をかきむしる

IHG は 13 年前から HPE と連携しており、HPE のサーバーを展開し、さまざまなプロジェクトで協力してきました。数か月前、アトランタ・ホークスの試合を観戦しながら、HPE の方々と IHG に固有の課題について話す機会がありました。1 拠点ですべて一元管理したいと考えていた私たちは、更新業務を簡素化する効率的なワークフロー、そしてハードウェア障害のより正確な予測方法も必要としていました。サプライチェーンの問題で新しいハードウェアや交換部品を入手できず、ホテル運営が困難になったときには、私はないはずの髪をかきむしっていました。

ファンがハードドライブが故障寸前だったことがわかっていれば、HPE OneView で新しいインフラストラクチャを立ち上げ、サポート技術者を派遣して故障した部品を交換することもできたはずですが、しかし、予測に基づくネットワーク分析がないために問題を未然に回避できず、常に障害対応に追われていました。そこで私は HPE に、最適なインフラストラクチャ管理に向けた解決策についてアドバイスを求めたところ、HPE が紹介してくれたのが、コンピュータのライフサイクル管理を一元化、簡素化、保護する新しいソリューション HPE GreenLake for Compute Ops Management でした。

ITプロフェッショナルが抱える不安を解消

私たちは HPE とのパートナーシップによって、HPE のエンジニアリングチームと緊密に連携し、HPE GreenLake for Compute Ops Management の導入に成功しました。今では、部品の故障やファームウェアアップデートによるインフラストラクチャ障害の懸念がなくなり、IT プロフェッショナルとしての負担が軽減されました。休暇中でもまったく邪魔されずにファームウェアを配信できることを想像してみてください。それが、このパートナーシップがもたらすメリットです。

IHG は、2022 年 2 月に HPE GreenLake for Compute Ops Management の展開を開始したが、まずはニューヨーク、アトランタ、クリーブランド、サンフランシスコ、ロサンゼルスにある 10 のホテルに導入しました。私たちはプラットフォームを検証し、各拠点を監視して機能を確認したところ、すぐに、重要な問題を解決してシステムを最新の状態に維持できることが判明しました。

まず最初に目に留まったものの 1 つが、予測に基づくハードウェア分析でした。中西部のサーバーにあるドライブの 1 つが故障したことに気付いたとき、ファンも故障するところでした。この両方（故障したファンを搭載したマシンの温度を含む）を監視している、システムでアラートとメール通知が速やかに作成されました。そのとき、このシステムの信頼性を確信し、毎日 1 日中インフラストラクチャを監視する必要はなくなったのです。

もう 1 つ明らかになったのは、すべての部門におけるファームウェアアップデートの状況を監視できることです。ここで、やっとこれまでの状況の酷さを目の当たりにすることになり、2 世代前のバージョンを使っているホテルもあれば、最新バージョンのホテルもあることがわかりました。こういった可視化によって、将来に向けて的確なアップデート計画の策定が可能になります。IHG が保有する 6,000 ものホテルに複数のパッチを同時配信できることを想像してみてください。今ではパッチを適用するべきタイミングがわかるようになったので、事前にスケジュール設定し、数百個もの 6 ギガバイト サービスパックでネットワークが 1 か所に集中するを回避できます。HPE GreenLake for Compute Ops Management では、大容量のサービスパックをダウンロードする必要がなく、サーバーにインストールされているファームウェアと最新ファームウェアの違いに応じて HPE クラウドホスティング サービスパックを活用してコンポーネントをアップデートします。これによってアップデートの実行時間が大幅に短縮され、ネットワーク帯域幅に関する前述の問題にも対処できます。

私は、こういったすばらしいメリットに非常に満足しており、上司の Kerrell Hurt に声をかけて新しい構成について説明し、想像を超えるメリットをもたらすソリューションを見つけたことを伝えました。私たちが求めていた、サーバーを監視して障害の要因を予測し、問題に迅速かつリアルタイムに確実に対処できるツールを確保できたのです。

ファームウェアやソフトウェアのアップデートに関しては、テスト環境を構築して必要なパッチを適用し、その結果を確認できます。問題が発生した場合は、その問題を解消するか、問題を起こさないアップデートのリリースまで待ちます。アップデートをピーク時間外にスケジュールリングしたり、手動配信したりすることで、インフラストラクチャの負荷を軽減することも可能です。



すべてを一元的に管理可能

HPE GreenLake for Compute Ops Management には API 統合も備わっており、スクリプトと自動化によって運用をプログラム実行できるため、すべてのホテル施設で数多くのサーバーの一貫性のあるオンボードを迅速に実現できます。

HPE GreenLake for Compute Ops Management のダッシュボードも優れていて、すべてのサーバーを確認しながらグループとタグを割り当て、効率的に管理できます。

現在は、インフラストラクチャを地域別にグループ化し、ブランド別にタグ付けしており、東海岸、西海岸、中西部といったグループ分け、クラウンプラザ、インターコンチネンタルなど、各ホテルチェーンごとのタグ付けとなっています。世界各地のインフラストラクチャを一元管理できるため、サーバー稼働状態のリアルタイムでの監視、アップデートのスケジュール設定、的確なリソース割り当てによってハードウェア障害などの問題を未然に回避することができます。

HPE GreenLake Edge-to-Cloud プラットフォームをベースとするこうした機能は、極めて重要な役割を果たしています。このクラウドネイティブ プラットフォームは、他社製品のはるか先を行っており、単一クラウドベース ポータルへのサーバー、ストレージ、ネットワーク インフラストラクチャの統合を先導する存在と言えます。

たとえば、数週間前、私は午前 3 時に起きて Compute Ops Management にログインし、【**プッシュ**】をクリックして**ファームウェアを適用**してから、HPE ProLiant ハイブリッドサーバー向けのサービスパックを展開しました。寝ている間に必要なアップデートが適用され、すべてのサーバーも再起動されることを知っているので、またベッドに戻りました。すでにサンドボックス環境で実施したパッチテストですべてうまくいったので、徹夜して展開を見



守る必要はありませんでした。

最終目標は、卓越したゲストエクスペリエンスの提供

IHG では、150 のホテルに HPE GreenLake for Compute Ops Management を展開していますが、ハードウェア障害の予測とサーバーインフラストラクチャの監視が可能になったことで、各ホテルでの IT 管理が大幅に簡素化されました。HPE のチームが日々新しい機能を追加しており、最先端システムを実現していると自負していますが、これは私の体験であって、自身で実際に実感することが重要です。すべての IT 責任者に、HPE が提供する Compute Ops Management プラットフォームの 90 日間無償試用版を試してみることを強く推奨します。

3 か月もあれば、すべての拠点とサーバーのセットアップには十分です。VPN および NPLS ネットワークをソフトウェア デファインド ソリューションに移行する場合、移行中にファームウェアとドラ

イバーのアップデートを新規、レガシー両方のインフラストラクチャに適用できるため、非常に簡単です。

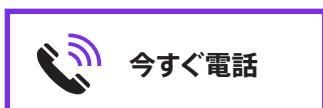
インフラストラクチャの話は尽きませんが、最終目標は、6,000 のホテルで卓越したゲストエクスペリエンスを提供することです。最終的に宿泊客の高い満足度を達成できないなら、最初の計画段階からやり直す必要があります。HPE GreenLake for Compute Ops Management の導入によって、ネットワークの正常稼働を維持したまま機器を更新できるツールを取得できた今、ハードウェアとソフトウェアの問題を未然に回避できるようになりました。

その結果、運用の効率化と業界最高レベルのフロントサービスを実現しています。宿泊客のチェックインの所要時間が短くなれば、それだけ長く滞在や充実した設備を楽しんでいただくことができます。

- Roger Hilton

インターコンチネンタルホテルズグループ、グローバル展開、インフラストラクチャ、統合担当テクニカルアドバイザー

お客様のニーズに最適な製品をお選びください。
HPEのプリセールススペシャリストにお問い合わせください。



 最新情報を受け取る

[HPE GreenLakeはこちら](#) 


**Hewlett Packard
Enterprise**

© Copyright 2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、すべて当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

a50007315JPN, Rev. 1